

案件概要書

2015 年 4 月 28 日

1. 基本情報

- (1) 国名：ミャンマー連邦共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ヤンゴン市
- (3) 案件名：ヤンゴン新専門病院建設計画
(The Project for Construction of New Yangon Specialist Hospital)
- (4) 事業の要約：本事業は、第三次医療施設のヤンゴン総合病院の診療機能の一部を移設し、当国の第三次医療を担う専門病院の施設整備・機材供与等を行うことにより、保健医療サービスの改善を図り、もって国民の生活向上に寄与する。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 当該国における保健医療セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け
ミャンマー連邦共和国の保健医療セクターにおいては、非感染性疾患に起因する死亡が増加傾向にある。ミャンマーの早期死亡の原因疾病のランキングにおいて、脳卒中は 1990 年の 5 位から 2010 年は 2 位、虚血性心疾患（心臓病の一つ）は 12 位から 7 位になるなど深刻化している。

しかしながら、これらの疾患の診断・治療が可能な医療施設は限られている。当国最高位のレファラル病院で、教育病院でもあるヤンゴン総合病院（1899 年設立）は、その限られた施設であるものの、①施設の老朽化・機材の不足、②度重なる増改築に起因する病院スタッフや患者にとって不便な動線、③病床数不足、④患者の過度の集中により、診断・治療方法は限られ、かつ対応可能な患者数が不十分な状況にある。本事業では、ヤンゴン総合病院の診療機能の一部を新設する病院に移設し、上記の施設・機材の問題や病院の混雑等を解消し、保健医療サービスを改善することを目的としている。

当国では、「国家保健政策」及び「国家保健計画 2011-2016」を策定し、「病院ケアの向上」、「保健システム強化」等の 11 のプログラム・エリアに取り組んでおり、本事業は、これら政策及び計画を実現する方策として位置付けられている。

- (2) 保健医療セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

2012 年 4 月に作成された経済協力方針において、①国民の生活向上のための支援（少数民族や貧困層支援、農業開発、地域開発含む）、②経済・社会を支える人材の能力向上や制度の整備のための支援（民主化推進のための支援を含む）、③持続的経済成長のために必要なインフラや制度の整備等の支援を中心に実施することとしている。無償資金協力「ヤンゴン市内総合病院医療機材整備計画」（2013 年度）では、本事業に関連するヤンゴン総合病院の一般外科、胸部外科・内科等の 10 診療科等を対象に医療機材を整備した実績がある。上記①の中で、保健・医療は中心分野として取り上げられており、本事業はこれら方針に合致する。

- (3) 他の援助機関の対応

開発パートナー（世界銀行、WHO、UNICEF、USAID 等）の支援は、母子保健や感染症対策に重点が置かれている。インフラ整備では、活動の基軸となるタウンシップ・レベルのプライマリ・ケアを提供する医療施設整備を行っている。

- (4) 本事業を実施する意義

当国の開発課題・政策及び我が国の援助方針に合致し、かつ我が国が推進する「国際保健外交戦略」（2013 年策定）に沿っており、重要政策に資する案件であることから、無償資金協力として事業の実施を支援する必要性及び妥当性は高い。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

ヤンゴン市において、ヤンゴン総合病院の診療機能の一部を移設し、当国の第三次医療を担う専門病院の施設建設・機材整備等を実施することにより、保健医療サービスの改善を図り、もって国民の生活向上に寄与することを目的とする。

② 事業内容

- i. 施設、機材等の内容：（候補：心臓血管内科（循環器内科）、心臓血管外科、脳神経内科、脳神経外科。協力準備調査にて確認。）

【土木工事】病院施設の新設

【機材】医療機材等の調達

- ii. コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：協力準備調査にて確認

- iii. 調達・施工方法：協力準備調査にて確認。

- ③ 他の JICA 事業との関係：保健医療サービスの質の向上に資する人材育成・制度整備支援を目的に技術協力「保健システム強化プロジェクト」（2014～2018 年）、長期研修「医科大学教員」（2015～2019 年）を実施しており、本事業はこれら活動を相互補完するものである。

(2) 事業実施体制

- ① 事業実施機関／実施体制：保健省（Ministry of Health）

- ② 他機関との連携・役割分担：特になし。

- ③ 運営／維持管理体制：保健省は JICA の技術協力・無償資金協力を数多く実施した経験を有し、且つ予算も 2011/12 年度から増加傾向（2013/14 年度予算：前年度比約 27%増）にあることから、事業実施・財務面で一定の能力を持つと考えられる。詳細は協力準備調査にて確認する。

(3) 環境社会配慮

- ① カテゴリー分類 ☐A ☐B ☒C ☐FI

- ② カテゴリー分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

- (4) 横断的事項：協力準備調査にて確認。

- (5) ジェンダー分類：分類未定。

- (6) その他特記事項：特になし。

4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

パラグアイ共和国の無償資金協力「アスンシオン大学病院移転及び整備計画」（2006 年度、2007 年度）の事後評価結果等では、国民全般にサービスを提供する施設の移転の際には立地条件の変化やサービス利用者の動向を考慮し、施設に対する需要予測を適切に行うことが重要であるとの教訓を得ている。本事業においても、対象診療科の過去のレファラル受入実績等を基に需要予測を行い、計画を策定する。

以上

〔別添資料〕地図

ヤンゴン新専門病院建設計画 地図

対象地域

